

# 端末の安心・安全な活用について

## Chrome OS における安心・安全な活用について

Google for Education は、追加設定なし（学校内での利用と同様の設定のまま）で持ち帰りを実現できます！

学校外でも最新のセキュリティ対策適用／標準フィルタリング機能\*搭載／紛失盗難時も遠隔で端末無効化／学校外での OS 等更新作業の心配不要／ドメイン外のログイン制御

\*ブロックリスト、セーフサーチ、セーフブラウジング等。詳細情報・FAQ は以下URL  
<https://events.withgoogle.com/gfe-ict-guideline/faq/#content>

### 児童生徒の保護（不適切な WEB ページが見えないようにする）

インターネット利用時に児童生徒を保護するため、管理者は管理コンソールにて以下の設定が可能です。

- セーフサーチ: Google 検索クエリに常にセーフサーチを使用する  
[https://support.google.com/chrome/a/answer/2657289?hl=ja#force\\_google\\_safe\\_search](https://support.google.com/chrome/a/answer/2657289?hl=ja#force_google_safe_search)
- ポップアップ: すべてのポップアップをブロックする  
[https://support.google.com/chrome/a/answer/2657289?hl=ja#default\\_popups\\_setting](https://support.google.com/chrome/a/answer/2657289?hl=ja#default_popups_setting)
- セーフブラウジング: 常にセーフブラウジングを有効にする  
[https://support.google.com/chrome/a/answer/2657289?hl=ja#safe\\_browsing\\_enabled](https://support.google.com/chrome/a/answer/2657289?hl=ja#safe_browsing_enabled)
- ダウンロードの制限: 危険性のあるダウンロードをブロックする  
[https://support.google.com/chrome/a/answer/2657289?hl=ja#safe\\_browsing\\_download\\_restrictions](https://support.google.com/chrome/a/answer/2657289?hl=ja#safe_browsing_download_restrictions)
- セーフブラウジングの警告の無視を無効にする: セーフブラウジングの警告の無視をユーザーに許可しない  
[https://support.google.com/chrome/a/answer/2657289?hl=ja#disable\\_safe\\_browsing\\_proceed\\_anyway](https://support.google.com/chrome/a/answer/2657289?hl=ja#disable_safe_browsing_proceed_anyway)
- SafeSites URL フィルタ: アダルトコンテンツに基づくサイトの除外を行う  
[https://support.google.com/chrome/a/answer/2657289?hl=ja#safe\\_sites\\_filter\\_behavior](https://support.google.com/chrome/a/answer/2657289?hl=ja#safe_sites_filter_behavior)
- URL のブロック: 特に禁止したい Web サイトなどは、URL 拒否リストに登録  
[https://support.google.com/chrome/a/answer/2657289?hl=ja#url\\_blacklist](https://support.google.com/chrome/a/answer/2657289?hl=ja#url_blacklist)

### 端末本体の保護（盗難、紛失、転売の対策）

端末の紛失、盗難時には以下の対応が可能です。

- 端末を Chrome Education Upgrade (MDM) に紐づけていれば、管理コンソールから遠隔で端末の無効化が可能です
- 端末が初期化されたときに、Chrome Education Upgrade (MDM) に自動的に再登録する設定を行うことが可能です。これにより、初期化しても端末は管理者の管理下にあるため、転売などの対策になります

### OS の保護（ウイルスに感染させない、アプリケーションのインストール許可・禁止）

- Chromebook は、自動的にソフトウェアを最新に保ち、最新のセキュリティ修正を適用した状態にすることで不正なソフトウェアの侵入を防ぐため、**端末ごとにウイルス対策ソフトをインストールする必要はありません**
- Chromebook では、マルウェア感染のリスクが高い「電子メールの閲覧」「Web サイトの閲覧」「USB メモリの差し込み」「フリーソフトやアプリのダウンロード」などにおいて、セキュリティ対策が可能な機能を提供しています
- Chromebook では個々のウェブページとアプリケーションが「サンドボックス」と呼ばれる制限された環境で動作します。ウイルスに感染したページを開いたとしても、他のタブ、アプリ、その他の要素に影響が生じることはなく、脅威は封じ込められます
- Web サイトの閲覧、メールの送受信、USB メモリの利用やアプリ・ソフトウェアのダウンロード可否はユーザーごとに利用範囲を制御することで、端末への不正なソフトウェアの持ち込みを防ぎます

### その他

ご家庭のみなさまへ

ご家庭の Wi-Fi に接続する際には、Chromebook で Wi-Fi に接続する方法 ([https://www.google.com/intl/ja\\_jp/chromebook/howto/connect-to-wifi/](https://www.google.com/intl/ja_jp/chromebook/howto/connect-to-wifi/)) をご覧ください。

問い合わせ先

学校外における 1 人 1 台端末の安心・安全な活用に向けて (Web サイト)

<https://events.withgoogle.com/gfe-ict-guideline/#content>

TEL: 0120-905-860 (平日 9:00 - 18:00・祝祭日・年末年始除く)

Mail: [gfe-jp-isr@google.com](mailto:gfe-jp-isr@google.com)